

春をまねく麗姿

受け継がれた雛のころ

土人形大集合



2026年

開催期間 2/8(日) ▶ 4/3(金)

本荘郷土資料館

〒015-0011 由利本荘市石脇字弁慶川5 TEL0184-24-3570

開館時間：午前9時から午後5時 休館日：毎週月曜日 ※ただし月曜日が祝日の場合は翌日 入館料：大人100円 / 学生以下無料 / 団体20名以上で一人50円



れいし 春をまねく麗姿 受け継がれた 雛のころ ～土人形大集合～

厳しい冬が終わり、雪解けの音が聞こえ始める頃。かつての本荘の人々は、春の訪れを祝うとともに、家族の無病息災を「^{ひな}雛」に託してきました。

本展では、時代を超えて大切に守り伝えられてきた、本荘ゆかりの雛人形と土人形を一堂に集めました。

受け継がれる「祈り」と「格式」

熊谷家より伝わる堂々たる姿の「享保雛」、豪華絢爛な様式美を誇る鈴木家の「御殿雛」。そして、永泉寺に伝わる極小ながらも精巧を極めた「^{けし}芥子雛」と雛道具。そこには、子を想う親の情愛と、名家が紡いできた誇り高い文化の息吹が宿っています。

一方で、農家や庶民の間で親しまれたのは、素朴で温かみのある「土人形」でした。高価な衣裳びなを揃えることが難しかった時代、人々は土の温もりに、春を待ちわびる喜びと、ささやかながらも切実な幸せへの願いを込めました。

華やかな貴族文化の象徴から、土着の信仰に近い土人形まで。それぞれの形に込められた「雛のころ」を見つめ直し、現代に生きる私たちへ繋がれる「春への願い」を、その麗しき姿から感じ取ってください。

